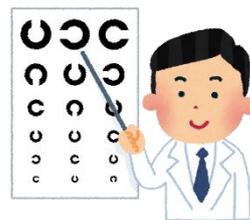


気になる眼のあれこれ

～眼科コラム～

聖隷沼津病院 眼科検査室

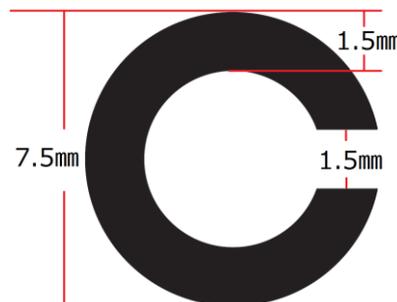
視力検査の C はなに？



視力検査を行った際に、見せられるアルファベットの C のようなマーク。

あのマークは『ランドルト環』といい、エドモンド・ランドルというスイス人の眼科医によって開発されたもので、国際眼科学会で標準視標として正式に採用されています。

ランドルト環の大きさは日本ではJIS規格で定められていて、5m離れた距離から検査を行った際に、視力 1.0 に相当するランドルト環は直径 7.5 mm 線の幅 1.5 mm 切れ目の幅 1.5 mm となっています。

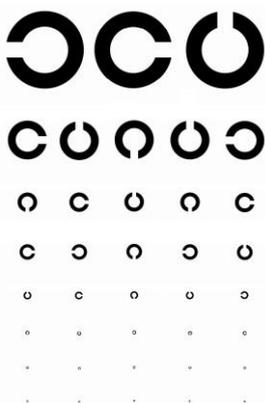


視力はこの切れ目の幅によって決まっています、この切れ目の幅の事を視角と呼び、単位は「分」で表されます。視角 1 分は切れ目の幅 15mm となります。

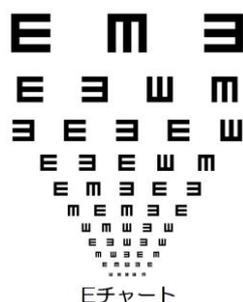
5m離れた場所から 1 分の視角を 3/5 以上正当できたとき、視力 1.0 となります。

日本ではランドルト環以外にも、ひらがな・カタカナ・数字・絵なども視力表に使用しており、年齢や理解度に応じて使い分けが出来るようになっています。

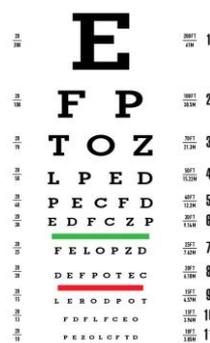
世界に目を向けると、アルファベットを用いたスネレン視標やE字型のみを用いたEチャートという視標が多く使われています。



ランドルト環



Eチャート



スネレン視標